



KYOTO KEIKAN FORUM 2013 SYMPOSIUM

七条大橋の復元シミュレーション (制作: 中村伸之)

NPO法人京都景観フォーラム/シンポジウム

# 「鴨川・まちと川のあゆみ」

## 2013.2.3(SUN)

鴨川に架かる七条大橋は2013年に竣工百周年を迎えます。これを記念して、三条から七条間を対象に鴨川の歴史をふりかえり、将来像を探るシンポジウムを開催します。

(日時)

平成25年2月3日(日)  
14時～17時

(会場)

京都市東山区総合庁舎  
3階大会議室

(参加費)

500円(小冊子配布)

※申し込み不要(先着100名)

(プログラム)

第1部/報告「鴨川の自然と歴史」

第2部/パネルディスカッション「鴨川と京都の未来」

同時開催 「鴨川・まちと川のあゆみ」パネル展

2月3日(日)～2月8日(金)

8時30分～17時(初日は10時から、最終日は15時まで)

東山区総合庁舎1階展示ホールにて

(お問合せ) [kyotokeikanforum@yahoo.co.jp](mailto:kyotokeikanforum@yahoo.co.jp) 詳しくはHPをご覧ください。 <http://kyotokeikan.org>

●主催：NPO法人京都景観フォーラム ●後援：京都市、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター

このシンポジウムは、東山区まちづくり支援事業と京都市未来まちづくり100人委員会の活動支援事業の助成を受けて実施いたします。



KYOTO KEIKAN FORUM 2013 SYMPOSIUM

NPO法人京都景観フォーラム/シンポジウム

# 「鴨川・まちと川のあゆみ」

2013.2.3(SUN)

鴨川の歴史をふりかえり、将来像を探る。

平安京がこの盆地に造営されて以来、鴨川は日本史の重要な舞台となりました。

江戸時代には三条大橋が東海道の西の起点となり、四条河原は納涼(すずみ)でにぎわい、明治大正期には運河や鉄道が開発されました。

1913年(大正2年)には、京都を近代化する三大事業の道路拡幅に伴

い、日本初の大規模なコンクリート・アーチ橋である四条大橋と七条大橋が建設され、近代的な都市景観の黄金期を迎えます。まちと川との密接なつながりは、他の都市と比べても群を抜いていると言えるでしょう。残念ながら1935年(昭和10年)の大洪水により、多くの被害が出て四条大橋も撤去され、その後の戦争に

よる混乱や河川改修によって、かつての輝かしい文化と景観、まちと川の幸福なつながりは忘れ去られたかのように思われます。

鴨川の中で唯一明治期の意匠を残す七条大橋の百周年を祝い、いま一度、まちと川のあゆみをたどり、鴨川と京都の未来を展望したいと思えます。

## PROGRAM / プログラム

2013年2月3日(日)14:00~17:00

### 第1部 / 報告「鴨川の自然と歴史」

- (1) 鴨川改修と架橋、鉄道の開発
- (2) 鴨川の納涼文化
- (3) 近代建築と遊興
- (4) 昭和10年の鴨川大水害
- (5) 鴨川運河とまちづくり

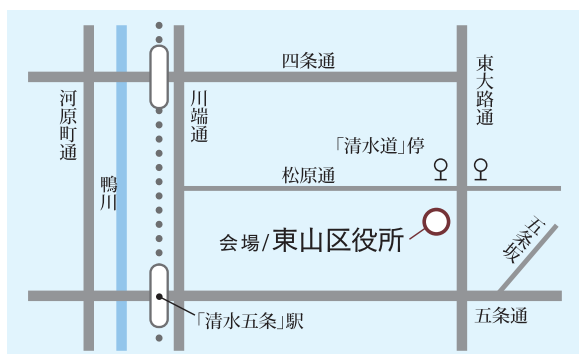
### 第2部 / パネルディスカッション「鴨川と京都の未来」

- (1) 鴨川ツアーの報告
- (2) 名所空間再生の可能性
- (3) パネリストによる討論

※13:00~14:00に、  
京都景観エリアマネジメント講座(実践講座)終了式

## ACCESS / 会場へのアクセス

東山区役所 …〒605-0862 京都市東山区清水5丁目130-6



市バスで…「清水道」停下車すぐ

電車…京阪「清水五条」駅から徒歩15分



観美之面河橋大條四(都京) 78

「四条大橋側面の美観」土木学会図書館 戦前土木絵葉書ライブラリーより